

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：つきみ野かりん	種別：通所介護
代表者氏名：道下哲至	定員（利用人数）： 15名
所在地：〒242-0001 大和市下鶴間2160-1	
TEL：046-204-5835	
ホームページ：(法人) http://tomoni.or.jp/ (施設)作成中	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人県央福祉会	
職員数	常勤職員：3名（男性1・女性2） 非常勤職員：16名（男性4・女性12）
専門職員	（専門職の名称） 名
	理学療法士：1名 准看護師：2名
	介護福祉士：7名 看護師：1名
施設・設備の概要	（居室数） 能訓練室・相談室・静養室・浴室・トイレ
	（設備等） 機械浴槽・個浴槽・マシン・階段・平行棒・トイレ・キッチン・テーブル・椅子

③理念・基本方針

法人の理念

- (1) 障害児・者、高齢者のノーマライゼーションの実現から「ソーシャルインクルージョン」（共生社会）を目指します。
- (2) 社会・福祉・介護ニーズに応えるべく先駆的で開拓的な事業を展開します。

事業所の基本方針

- (1) 人権の尊重とサービスの向上を図る。
- (2) インフォームドコンセント及びエンパワーメントを大切に利用者主体の支援を行う。
- (3) 地域との共生
- (4) ニーズの多様化と複雑化に対応する人材の確保、育成のための研修体制を充実する。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・半日型と一日型の二種類のサービスの提供
プログラムは体調確認、かりん体操、入浴、口腔体操、食事、レクリエーション、マシンプログラム、生活機能改善プログラム、クールダウンなどで、半日型は食事と入浴の提供はありません。
- ・常勤理学療法士と看護師による安全で効果的なプログラムの提供
- ・多種多様なマシンプログラムの提供
- ・機能訓練型としての質の高いサービスの提供
- ・ニーズに合わせた柔軟なプログラム

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年4月27日（契約日）～ 令和3年11月24日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（2018年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)運動を中心に身体機能を維持、改善を目的としたプログラムを提供しています
今年の4月から理学療法士が常勤となり、「身体機能を維持、改善できる事業所」としての特色を活かしてサービスの提供を行っています。この事業所では元々一日型と半日型（午前、午後）が併用されており、利用者のニーズによって選択することができます。一日型、半日型とも集団体操、身体機能訓練、生活機能改善訓練を行い、一日型ではこの他に入浴、食事、レクリエーションが加わっています。朝の体調確認後には全員で集団体操を行っています。

ここでは運動だけでなく口腔体操や脳トレーニングも取り入れています。身体機能訓練では、特に歩行能力の向上を図り、平行棒、階段の他6種類のマシンを使用して、股関節、大殿筋、背筋、腸腰筋等の筋力を高めています。生活機能改善訓練は日常生活の中で必要な動作を安全に行うための運動です。今回は、理学療法士が考案した「股関節プログラム」で、入浴時の浴槽の跨ぎ動作や靴の着脱を意識した運動で、10月からは方向転換を考慮した運動を行う予定です。

2)多種多様なレクリエーションを提供し、楽しみながら通所にも役立っています
事業所ではレクリエーションについて「一般的な趣味講座に近い内容にし、個別性の高いものを提供しています。」をコンセプトにしています。職員は毎月レクリエーション予定表を作成し、必要な準備を行っています。場合によっては準備の段階で、男性の利用者には材料の色塗りや組み立て等の手伝いをお願いしています。利用者からは「指先を使うので、脳トレにいいね。」と喜ばれています。8月のレクリエーションは大変盛り上がりました。別の日には夏の絵手紙や風鈴作り等の作品を仕上げ、利用者は自宅に持ち帰っています。多種多様なレクリエーションを提供し、利用者が飽きることなく楽しめるようにしています。

3)配置の工夫により効率化、経営改善に繋がっています

管理者は今年度からの就任で、今まで事業所の課題であった職員の配置バランスが悪いことや職員の動きなどの分析を行いました。その結果職員のポジションを固定せず、流動的に動けるようにして効率化を図り、忙しい時間やリスクの高い時間には人員配置を厚くするなどリスク管理にも配慮しました。またドライバーも3人から2人に減らし、職員が支援できるようにスケジュールを見直して人件費などの経営改善に繋がりました。

◇改善を求められる点

1) 半日コースの利用率低下の改善が望まれます

一日コースと半日コースの2種類のサービスを提供しており、利用者からは状態に応じて選択できると喜ばれていますが、半日コースの利用率が低下してきています。半日コースの通所介護は市内でも早くから取り入れており、古いイメージがあるようですが、理学療法士と看護師を常駐し、機能訓練プログラムを充実させています。改善をアピールし、利用者のニーズに合ったサービスの提供をして、利用率向上に取り組むことを期待します。

2) 非常勤職員の人材育成計画が期待されます

常勤職員は人材育成のツールとして「あしたのクラウド」で項目毎の目標設定をし、年2回所長と面談し評価を行っています。職員の意向や評価を基に職員の処遇改善などを実施していますが、非常勤職員には実施していません。事業所は常勤職員3名、非常勤職員16名の勤務体制で、非常勤職員の割合が高く、業務も多くを担っています。職員は連携や情報共有を課題と認識しています。今後は人材育成計画に非常勤職員も含めて取り組むことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は貴重な評価を頂きありがとうございました。

サービス内容に関しても、細かな評価をして頂きましたが、運動内容で高い評価を頂き、ありがとうございます。施設としても、スタッフとしても、サービスを強めている部分ですので、評価して頂くことで、モチベーションを高めることができました。

また、経営面など、深い部分に関しても評価して頂き、今後の課題の創出にもつながりました。

デイサービスでの第三者評価は義務化されておりませんが、実施していくことでサービスの質の向上につながっていければと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり